

ポストコロナに向けた府市一体による大阪の成長

2025年日本国際博覧会の推進

経済成長に向けた
戦略の実行

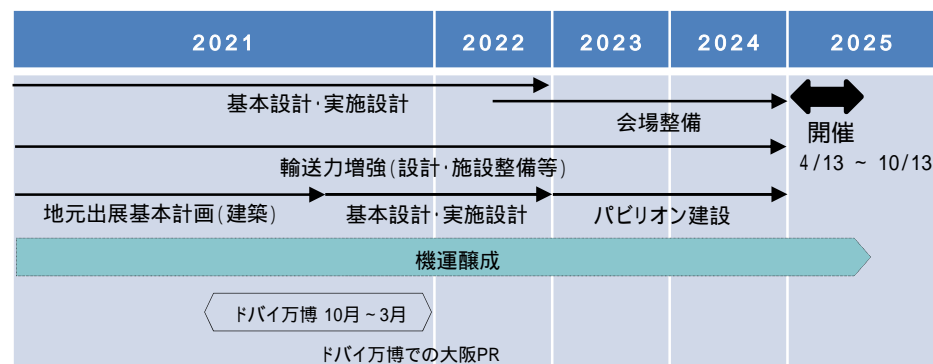
大阪の魅力を全世界に発信する2025年日本国際博覧会の成功に向けた取組みを推進

国際博覧会推進事業 (42億4,500万円)

- 会場建設費の本市負担金
- 夢洲地区埋立工事
(2025年日本国際博覧会会場の土地造成(30ha))
- ⑨ ➤ 地下鉄の輸送力増強
- 地元パビリオンの出展に向けた準備
 - ・ 基本計画の作成等
 - ・ バーチャル空間を活用したコンテンツの提供
- 機運醸成及び海外プロモーション等
 - ・ 大規模イベント等を活用した機運醸成
 - ・ ドバイ万博での大阪のPR



会場イメージ図(提供:2025年日本国際博覧会協会)



夢洲におけるインフラ整備

経済成長に向けた
戦略の実行

国際観光拠点の形成・国際物流拠点の機能強化に向けたインフラ整備を推進

夢洲地区の土地造成・基盤整備事業 (176億5,500万円)

(うち、一般会計: 52億7,200万円)

令和2年度3月補正予算の
繰越分(9億4,000万円)を含む

- 土地造成 ...2025年日本国際博覧会会場の土地造成(30ha)
- 基盤整備 ...観光外周道路、夢洲高架道路の整備工事等
上下水道の整備工事
- 鉄道アクセス ...南ルート(北港テクノポート線)の整備工事
- 道路アクセス ...此花大橋、舞洲幹線道路、夢舞大橋、
夢洲幹線道路の拡幅工事
舞洲東交差点立体交差化の詳細設計等
- 海上アクセス ...小型旅客船用浮棧橋の整備工事等

④

⑤ 夢洲物流車両の交通円滑化に向けた対策 (4億3,100万円)

- 夢洲地区における物流関連車両の円滑な交通を確保するための対策を実施
 - ・ 新たな港湾情報システム「CONPAS」の導入、コンテナ車整理場の整備、
空コンテナ返却場所一時移転の実施に向けた社会実験
- 別途、夢洲物流車両の咲洲シフトにも寄与する施設整備(設計)を実施



IRを含む国際観光拠点の形成

経済成長に向けた
戦略の実行

世界最高水準の成長型IRの実現に向け、府市が一体となって取組みを推進

府市が一体となった大阪へのIR誘致

IRを含む国際観光拠点の形成に向けた立地推進事業

(6,600万円)

別途、負担金収入調整額あり

- 事業者公募・選定、区域整備計画作成などの取組み
- IR誘致に向けた市民への理解促進の取組み
- IR立地に伴う懸念事項(ギャンブル等依存症など)の最小化に向けた取組み

(年度)

2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
<国> ○ IR整備法 成立	○ 基本方針 (案) 公表	○ 基本方針 (修正案) 公表・確定	○ 区域認定申請期間 (2021.10~2022.4)						
事業者公募・選定 区域認定				IR整備					



総合的な依存症対策の推進

依存症対策支援事業

(1,000万円)

- アルコール・薬物・ギャンブル等の3依存症者に対する相談支援等の実施

スマートシティ戦略の推進

経済成長に向けた
戦略の実行

市民の生活の質(QoL)の向上や都市機能の強化をめざし、スマートシティを実現

スマートシティ戦略推進事業 (2億2,000万円)

新

➤ スーパーシティ基本構想の策定

- ・ ICT等先端技術や大胆な規制緩和により、大阪が抱える社会課題の解決を図るため、スーパーシティの区域指定後、大阪府とともに内閣府による区域会議に参画し、基本構想を策定

拡

➤ 行政手続きのオンライン化の推進

- ・ 主要手続きの電子申請、証明書等の電子交付の早期実現や職員の業務効率化に向け、住民情報系基幹システムとの連携に必要な改修を実施 など

【参考】 順次オンライン申請、...
可能な手続きを拡大

令和3年度末まで
に約500手続き

令和5年度末まで
に約1,000手続き

令和7年度末まで
に約2,000手続き

令和元年度
システム再構築

令和2年8月~
運用開始

➤ 地域交通検討調査(スマートモビリティ)

- ・ AIオンデマンド交通などの新たな移動手段の導入可能性を調査し、利用者のニーズと整合した最適な地域交通のあり方について検討



AIオンデマンド交通導入時の地域交通イメージ 35

国際金融都市の実現に向けた挑戦

経済成長に向けた
戦略の実行

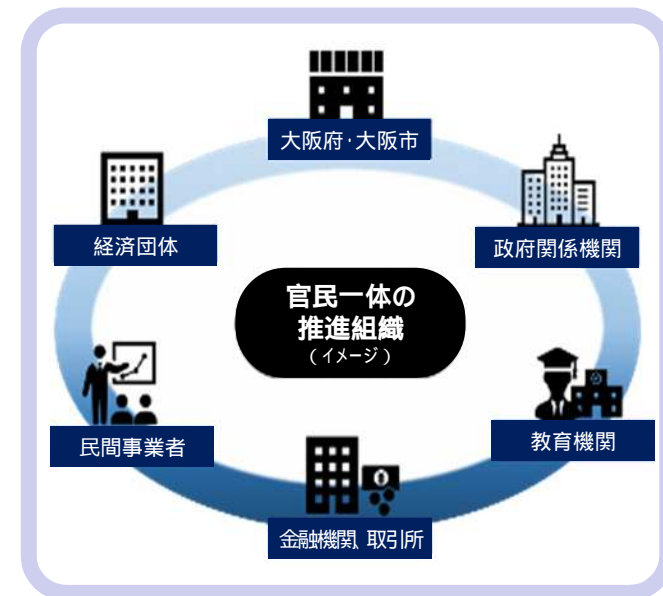
大阪独自の個性と機能を持った国際金融都市の実現に向けて官民一体で推進



国際金融都市推進事業

(2,500万円)

- 官民一体となって、ビジネス面・生活面での環境整備に向けた調査検討や、金融関連事業者など市場に参加するプレイヤーの誘致等の取組みを実施
 - ・ 官民一体の推進組織の運営
「国際金融都市OSAKA推進委員会」を設立し、参画する民間事業者等の意見を踏まえ、施策の検討・具体化を推進
 - ・ 調査検討の実施
海外事業者のニーズに応じたビジネス面・生活面における必要な環境整備に向けた調査、誘致に向けた状況調査・分析、インセンティブとなる施策のニーズ調査等を実施
 - ・ ワンストップ窓口の設置、世界に向けた情報の発信等
大阪に進出を希望する金融関連の海外事業者等へのワンストップでの支援や誘致活動、情報発信を実施



都市魅力の向上

経済成長に向けた
戦略の実行

魅力共創都市・大阪の実現をめざした取組みを推進

重点エリア等のマネジメント ～主な取組み～

大阪駅周辺地区

うめきた2期区域のまちづくり (91億2,200万円)【後掲】

中之島地区

開 大阪中之島美術館の開館 (95億4,500万円)

- 令和4年早春の開館に向けた建設工事の推進

中之島通の歩行者空間整備 (4億8,100万円)

- 「こども本の森 中之島」や「中央公会堂」など文化施設が集積するエリアの交通安全性・回遊性などを向上させるため、快適な歩行者空間として再編整備

御堂筋周辺地区

拡 御堂筋の道路空間再編 (6億5,900万円)

- 千日前通～道頓堀川区間:側道歩行者空間化の整備
- 道頓堀川～長堀通区間 :側道歩行者空間化に向けた実施設計及び整備



うめきた2期イメージ



大阪中之島美術館の完成イメージ



中之島通の歩行者空間整備イメージ

都市魅力の向上

大阪城・大手前・森之宮地区

大阪城エリア観光拠点化事業 (1億5,800万円)

- 豊臣石垣公開施設の令和5年春の開館に向けた整備事業等を実施

難波周辺地区

なんば駅周辺における空間再編推進事業 (2億6,700万円)

- 官民連携により、車中心の空間から人中心の空間へと再編
・ 社会実験の実施及び詳細設計等に着手

天王寺・阿倍野地区

天王寺公園・動物園の魅力向上 (14億2,800万円)

- 地方独立行政法人天王寺動物園(令和3年4月設立予定)による効率的な施設運営
- ふれあい家畜・小動物舎の完成、ペンギン・アシカ舎の整備工事に着手、ホッキョクグマ舎の基本設計

市立美術館の魅力向上 (2億6,400万円)

- 美術館機能強化と利用者サービス向上のため、令和6年度中のリニューアルオープンに向け大規模改修の実施設計に着手



豊臣石垣公開施設イメージ



ふれあい家畜・小動物舎
リニューアルイメージ

都市魅力の向上

経済成長に向けた
戦略の実行

新今宮地区

⑧ 新今宮駅北側のにぎわい創出に向けた回遊性向上事業 (900万円)

- なんばエリアと天王寺・阿倍野エリアとの交流軸となる鉄道高架沿い道路において、安全で快適な歩行者空間を整備することにより、沿道での民間事業者の開発を誘導

新今宮エリアブランド向上事業 (1,000万円)

- 民間事業者と連携し、大阪ミナミの新たな玄関口として「新今宮エリア」のエリアブランドの確立に向けたプロモーション活動を実施



高架下に沿った
賑わい創出のイメージ

築港・ベイエリア地区

超大型クルーズ客船の寄港に対応した岸壁改良 (3億 300万円)

- 世界最大級(22万総トン級)のクルーズ客船の係留に対応した天保山岸壁の改良
- 大阪港への初入港が令和4年と見込まれ、地域や関係機関と連携しながら賑わいの創出を図り、ベイエリアの更なる集客観光拠点化を推進

⑧ 大阪“みなと”における集貨機能の強化 (500万円)

- 大阪港湾局の設立を契機に、大阪港と府営港湾の両港の強みを活かし、取扱貨物量の増加や定期航路の増便・新規就航をめざした集貨事業を展開



天保山岸壁に寄港する
大型クルーズ客船

都市魅力の向上

経済成長に向けた
戦略の実行

水と光の魅力向上

「大阪・光の饗宴」の開催 (1億5,200万円)

- OSAKA光のルネサンス、御堂筋イルミネーションを核に、民間主催のエリアプログラムと一体的にプロモーションを展開

地域資源を活かした大阪の魅力発信

観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出

(1億3,600万円)

- 船場地区において、歴史的・文化的資産を活かすための無電柱化や周辺景観と調和した道路整備などを実施

観光バスを使った周遊ニーズの実証実験 (300万円)

- 大阪府、堺市と連携し、大阪市と堺市の歴史・文化的資源をつなぐ観光バスを使った周遊ニーズの実証実験を実施



提供：大阪・光の饗宴実行委員会

OSAKA光のルネサンス



観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ
創出事業による整備済み箇所

都市魅力の向上

公共空間の再編・活用による魅力向上



御堂筋の道路空間再編

(6億5,900万円)【再掲】

中之島通の歩行者空間整備

(4億8,100万円)【再掲】

なんば駅周辺における空間再編推進事業 (2億6,700万円)【再掲】

自転車の通行・周遊環境の整備 (3億5,000万円)

- コロナ禍において増加している自転車利用に対応するため、安全で快適な自転車通行環境の整備を面的に加速
- 周辺都市から夢洲につながる広域的なネットワーク形成のため、淀川左岸サイクルロードを整備

新しい生活様式に対応した新たな公園活用 (1,200万円)

- これまで屋内で行っていた飲食や文化・芸術、フィットネス、テレワークなどの活動をより気軽に公園で行えるよう、新たな公園活用を促進する仕組みを構築
- モデル公園において、民間事業者・市民団体等による公園活用のアイデアを公募し、継続的な展開につなげるための社会実験を実施



自転車の通行・周遊環境のイメージ



公園でのワークショップ(事例:PARKJAM)



公園での様々な活動(海外事例)41

新大学設置による「知の拠点」の形成

経済成長に向けた
戦略の実行

市大と府大を統合した『大阪公立大学(仮称)』の開学(令和4年4月予定)

新大学キャンパス整備事業

(13億3,700万円)

- 森之宮に新キャンパスを整備
 - ・ 令和7年度の開所を目途に、実施設計等に着手
- 同種分野の学部等の集約化に向け、既存キャンパス(杉本・阿倍野・中百舌鳥)を整備
 - ・ 各キャンパスの実実施設計、整備工事



感染症研究推進事業

(3,500万円)

- 新大学の開学に先駆け、両大学において、感染症対策に貢献する研究を推進

新大学 ~ 大阪の発展を牽引する「知の拠点」 ~

3つの基本機能のさらなる強化

教 育

研 究

社会貢献



統合によるシナジー効果

2つの新機能と4つの戦略領域

2つの新機能

都市シンクタンク機能

技術インキュベーション機能

4つの戦略領域

スマートシティ

パブリックヘルス/
スマートエイジング

バイオエンジニアリング

データマネジメント

国際力の強化

スポーツ振興・文化施策の展開

経済成長に向けた
戦略の実行

ゴールデン・スポーツイヤーズを好機と捉えたスポーツ振興施策を展開

東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ機運醸成事業 (4,900万円)

- 東京2020オリンピック聖火リレー、大会期間中のコミュニティライブサイト実施や、関連イベントの開催を通じたスポーツ機運の醸成

舞洲プロジェクトの実施 (1,400万円)

- 大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪と連携し、大阪商工会議所の協力のもと、スポーツ振興・スポーツ産業創出をめざした取組みを実施

「文化共創都市 大阪」の実現をめざし大阪にふさわしい文化施策を推進

大阪市芸術活動振興事業助成 (1億2,600万円)

- コロナ禍で大幅に縮小した芸術活動に対する支援の拡充を継続

大阪中之島美術館の開館 (95億4,500万円)【再掲】

市立美術館の魅力向上 (2億6,400万円)【再掲】

博物館施設運営費交付金等 (38億9,800万円)

- 地方独立行政法人による美術館・自然史博物館・東洋陶磁美術館・科学館・大阪歴史博物館・大阪中之島美術館の運営など

第3次大阪市文化振興計画

(令和3年3月策定予定)

目指す都市像「文化共創都市 大阪」

施策の方向性

- ・ 文化にかかわる環境づくり
- ・ 文化が都市を変革する
- ・ 文化が社会を形成する

開

循環共生型社会の形成

経済成長に向けた
戦略の実行

SDGs達成に貢献する環境先進都市の実現に向けた取組みの推進

「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」推進事業 (400万円)

- 本市が全国に先駆けて実施している「新たなペットボトル回収・リサイクルシステム」に取り組む地域コミュニティを拡大していくため、普及啓発を推進



古紙等のコミュニティ回収活動推進によるコミュニティビジネスの振興 (1億3,000万円)

- コミュニティ回収等を実施する団体に加え、コミュニティ回収の収集を担う事業者に対して、奨励金を新たに支出

水・環境技術の海外プロモーション事業 (700万円)

- 大阪・関西企業が持つ環境技術の海外展開を支援することにより、海外都市の環境問題の解決に貢献するとともに、大阪・関西経済の活性化を推進